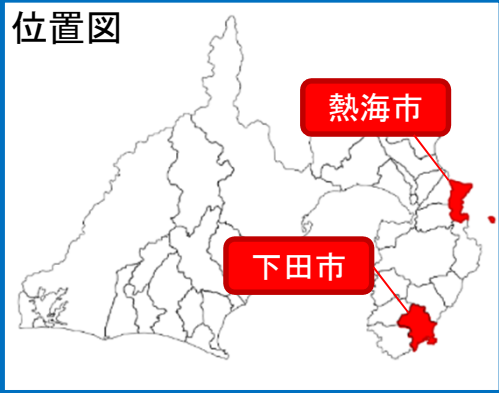


# 「VIRTUAL SHIZUOKA」が率先するデータ循環型SMART CITY (「VIRTUAL SHIZUOKA」が率先するデータ循環型SMARTCITY コンソーシアム)

■ 事業のセールスポイント ……3次元点群データの活用による仮想3次元県土「VIRTUALSHIZUOKA」を構築し、データをあらゆる分野へ活用、誰もが安全・安心で利便性が高く快適な地域づくりを目指す。  
 ※3次元点群データ……座標(x,y,z)及び色彩(RGB)情報を持った高精度なデータ

## 位置図



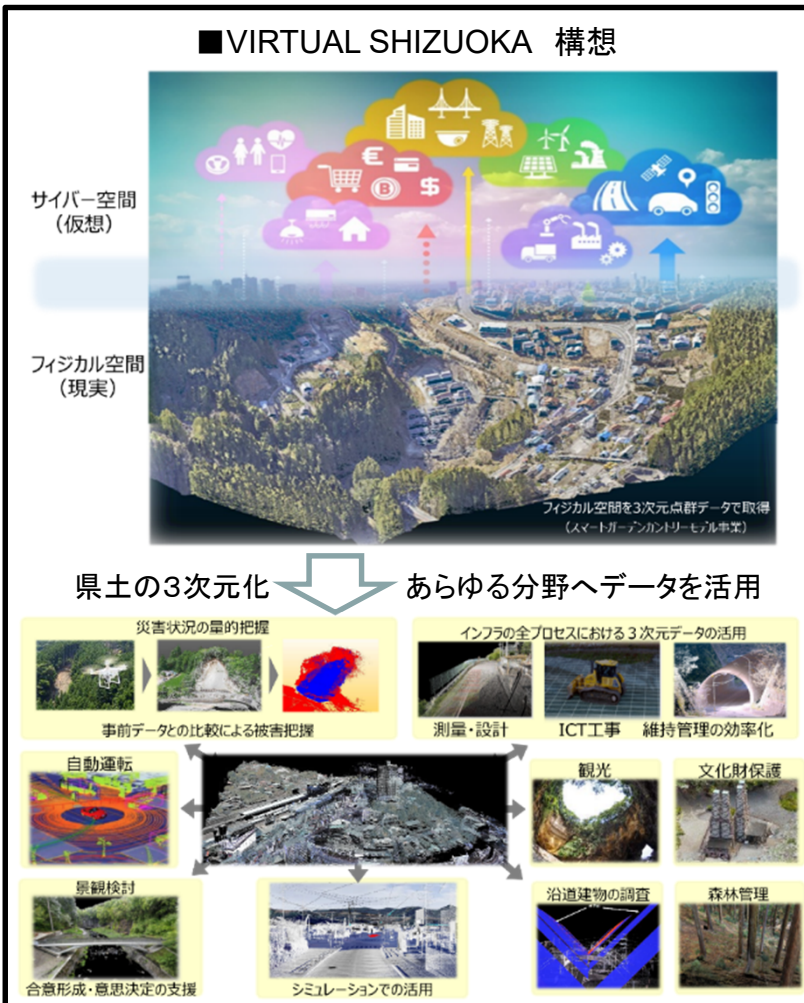
## ■ 対象区域の概要

- 熱海市・下田市
- 面積: 166.16km<sup>2</sup>
- 人口: 56,852人 (R2.2)

## ■ 対象区域のビジョン

○ 少子高齢化と人口減少、交通事業者の運転手不足に対応するため、3次元点群データを活用した次世代モビリティサービス(自動運転・MaaS等)の導入により、自家用車に頼れない高齢者や障がい者、免許返納者に対する移動手段を確保し、自家用車からの転換を図る。

## ■ 本事業全体の概要



## ■ 代表的な取組(下田エリア) MaaSと連携した自動運転の実証



【地域交通 + 観光交通】

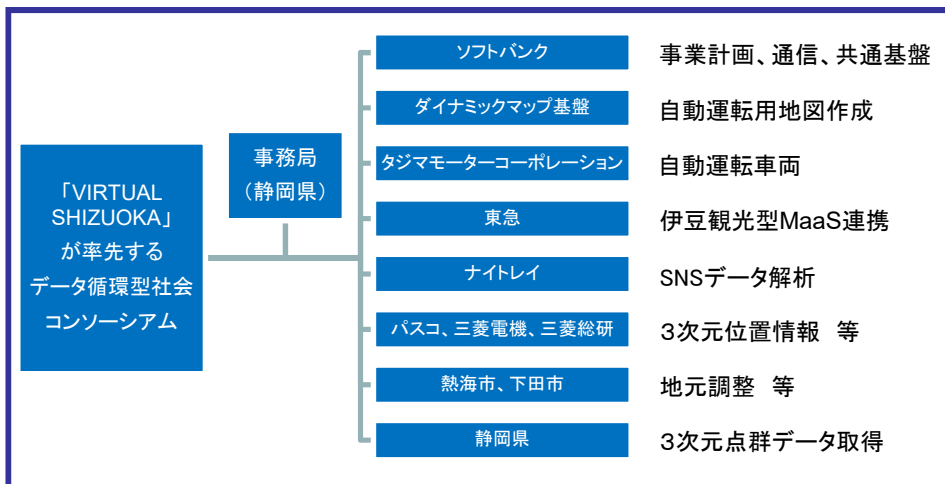
自家用車に代わる快適な移動を実現する

# 「VIRTUAL SHIZUOKA」が率先するデータ循環型SMART CITY (「VIRTUAL SHIZUOKA」が率先するデータ循環型SMARTCITY コンソーシアム)

## ■ スマートシティの目標(KPIの設定)

- 【くらし満足度向上】  
くらし満足度・住みやすさ指標 (60代以上で1割向上)
  - 【稼ぐ力の創出】  
VRコンテンツによる観光客数の増加
  - 【安心・安全の向上】  
災害時の通行止め日数 (2割削減)
  - 【防災意識の向上】  
VRを活用した防災訓練による意識向上
- ※定量目標については、今後取得していくデータ等に基づき設定、改善していく予定

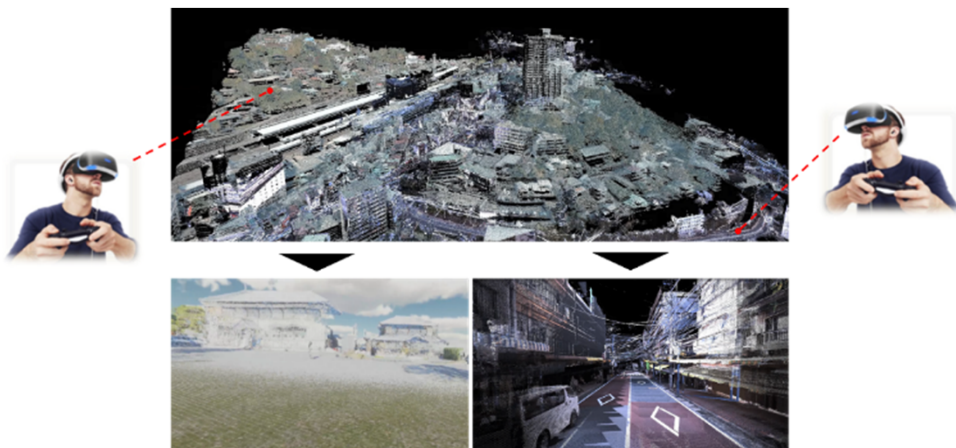
## ■ 運営体制



## ■ 導入技術

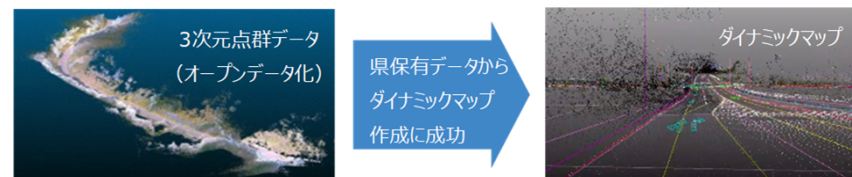
### ○「VIRTUAL SHIZUOKA」の構築

- 3次元点群データの取得とあらゆる分野への活用を推進
  - ▶ 防災意識向上、効果的な観光PR、災害の早期復旧にVRを活用



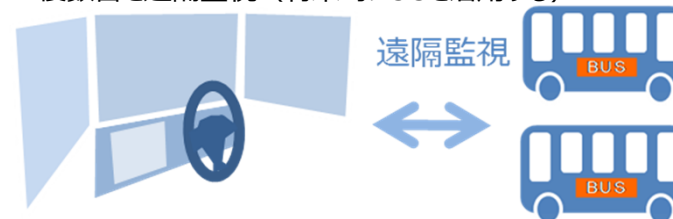
### ○オープンデータを活用した自動運転用地図の作成

- 自動運転用地図 (ダイナミックマップ) 作成に県がオープンデータ化した3次元点群データを活用 (標準化による横展開を目指す)



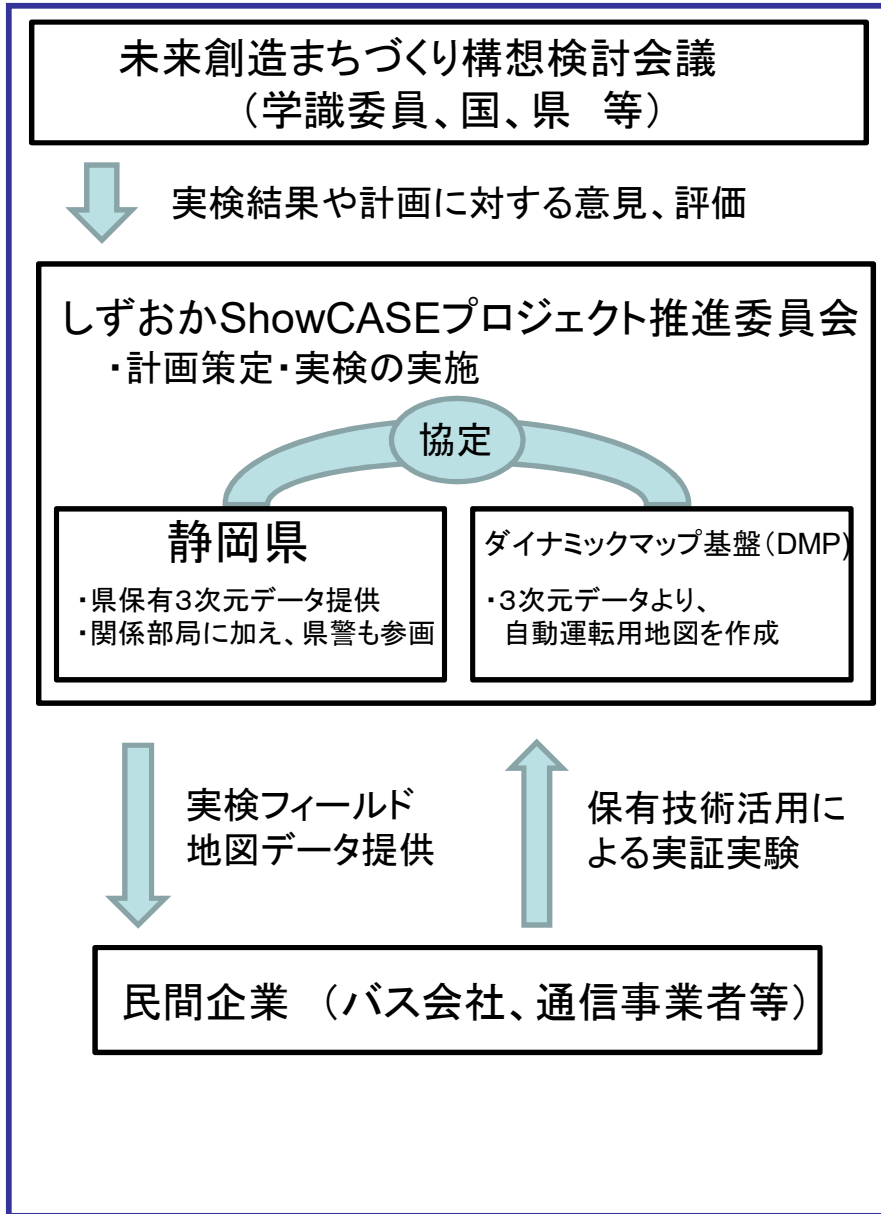
### ○遠隔地からの複数台遠隔監視技術の導入

- 運転手不足に悩む交通事業者が一人の運転手が営業所から複数台を遠隔監視 (将来的に5Gを活用する)



# 「VIRTUAL SHIZUOKA」が率先するデータ循環型SMART CITY (「VIRTUAL SHIZUOKA」が率先するデータ循環型SMARTCITY コンソーシアム)

## ■ ビジネスモデル



## ■ スケジュール

年度	2020	2021	2022	2023	2024~2026	
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3次元点群データを活用した災害状況の早期把握と復旧手法の検討 (安心・安全の向上: 早期復旧による経済効果の発現)</li> <li>■ 3次元シミュレーション (防災意識の向上)                      ・VR (バーチャリアリティ) コンテンツ作成                      ・河津町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ VR (バーチャリアリティ) による避難訓練の実施 (県、市町連携で実施)</li> <li>■ 松崎町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3次元点群データを活用したハザードマップの高度化 (県提供のデータを活用し各市町が作成)</li> </ul>			
交通・モビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自動運転・MaaS実証実験 (下田地区)                      ・AIデマンド                      ・遠隔監視                      ・顔認証による配車予約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自動運転・MaaS実証実験 (熱海地区)                      ・仮説とフィジビリティスタディ                      ・下田モデルをローカライズ                      ・実証実験</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;社旗実装に向けた取組&gt;                      ・公共交通等の移動サービスとしてのシステムの構築</li> </ul>		
観光・地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 伊豆半島ジオパークの3次元点群データ取得 (種く力の創出)                      ・VR (バーチャリアリティ) コンテンツ作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 伊豆半島ジオパークの拠点施設 (ジオシア) へVR体験施設を整備 (拠点整備)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 県内の地域資源の3次元点群データ取得 (デジタルアーカイブ)                      ・VR (バーチャリアリティ) コンテンツ作成</li> </ul>			
インフラ維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3次元点群データを活用したインフラ維持管理の効率化 (安全・安心の向上、担い手確保)                      ・AIを用いたインフラ施設の自動抽出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官の参画による共同研究                      ・実証実験の実施                      ・競争的資金への応募</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラ点検、パトロールの効率化・高度化 (道路・河川・砂防)、システム開発</li> <li>・社会実装支援と地域産産への展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ SIB (ソーシャルインパクトボンド) 導入検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オープンイノベーションによる新技術・新工法の積極的活用、掘り起し、社会実装支援                      ※「新技術交流イベント」を年1回開催し、ニーズとシーズのビジネスマッチングを図り、課題解決に資する技術の社会実装の実現を目指す</li> </ul>	
関連する施策・プロジェクト					<ul style="list-style-type: none"> <li>3次元点群データを基盤とした「VIRTUAL SHIZUOKA」の実現 (2016~)</li> <li>スマートガーデンカンパニー「ふじのくに」モデル事業 (2019~2022)</li> <li>しずおか自動運転ShowCASEプロジェクト (2018~)</li> <li>近未来技術等社会実装事業 (2019~2023)</li> <li>新モビリティサービス推進事業 (2019)</li> </ul>	

# 「VIRTUAL SHIZUOKA」が率先するデータ循環型SMART CITY (「VIRTUAL SHIZUOKA」が率先するデータ循環型SMARTCITY コンソーシアム)

## ■ データ利活用の方針

3次元点群データを、インフラ維持管理や自動運転、観光や防災・減災等、多様な分野において「共有・利活用」し、様々なデータベースと連携することにより、効率的・効果的なデータ循環型のスマートシティを目指す

